



「しろ」と「ちゃ子」の活動日記

～AIが考える未来編～



これまでの「しろ」と「ちゃ子」の活動状況を基に
AIに未来のヤギ除草を考えてもらいました



AIが考える海上保安試験研究センターにおける10年後のヤギ除草

海上保安試験研究センターでは、ヤギ除草の導入から10年が経ち、除草システムは高度なロボティクスとAI管理技術・フィジカルAIの導入によって大きく進化した。

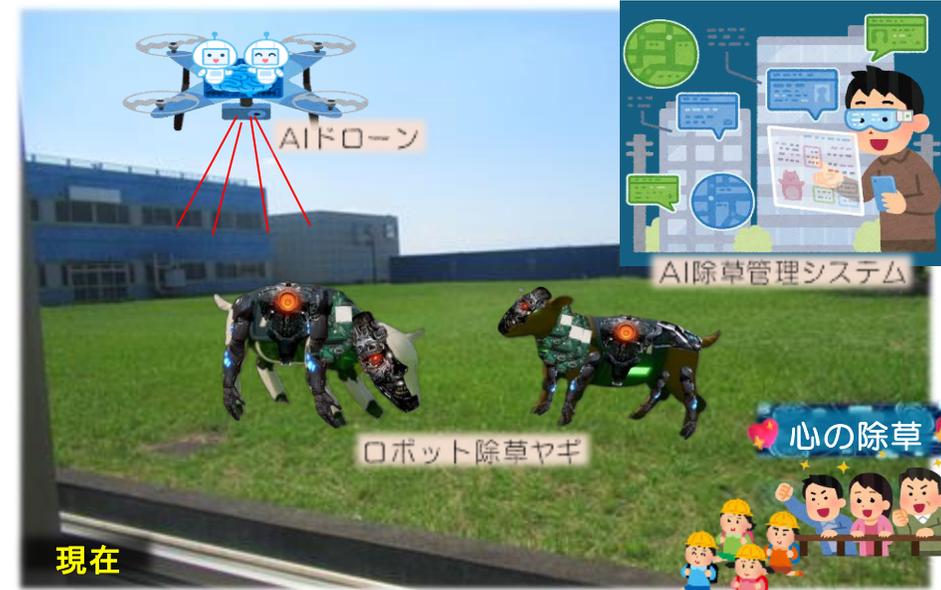
初代の除草ヤギ「しろ」と「ちゃ子」による検証結果を基に、現在では白色モデルと茶色モデルのロボット除草ヤギが配備され、広大な敷地を昼夜問わず自律的に巡回している。これらのユニットは半透明外装を備え、内部メカ構造やエネルギー状態を外側から確認できるため、職員はリアルタイムで稼働状況を把握できる。

AI除草管理システムは、ロボット除草ヤギから送信される草丈情報、稼働ログ、バッテリー残量などを統合し、最適な移動ルートと作業を自動生成する。加えて、AIドローンとの連携により、上空からの植生データ解析も行われ、除草エリアの効率化がさらに向上した。

この10年で、除草の作業効率は大きく改善し、従来の草刈り作業に伴う負担は大幅に削減された。また、環境負荷が少ない点や敷地景観への融和性から、ロボットヤギは海上保安試験研究センターの新しい象徴として定着している。

初代の除草ヤギ「しろ」と「ちゃ子」は、草を食むたび、人の心の小さな迷いまで軽くしてくれた。ヤギと人がつながり、その温かさが人と人を結び直していく、人はこれを「心の除草」と呼んだ。

この「心の除草」という理念は、10年たった現在も、未来技術と融合し、より持続可能で高度な除草モデルとして受け継がれている。



現在

ロボット除草ヤギ

AI除草管理システム

心の除草

しろ、君は10年後の自分を考えたことがあるかね

それまでの除草経験を活かし試験研究官になっていると思います

御守りありがとうございます！

それはそうと誰か私たちに名前をつけていい名前があればここまで！
jcg-hshikenkanri@gxb.mlit.go.jp



指導担当職員



しろ

ちゃ子

柵



近くの住民 (タヌキたち)



過去

心の除草

※「吹き出し」は全てイメージです

※ 左記説明文は生成AIを用いて作成しています。

次回予告：検討中